

むかわ町立  
穂別博物館館報  
(旧 穂別町立博物館館報)

第23号

平成17(2005)年度版

むかわ町立穂別博物館  
(旧 穂別町立博物館)

## 目 次

- 沿 設 革 ----- ( p . 1 )
- 施 設 の 概 要 ----- ( p . 4 )
- 施 設 平 面 図 ----- ( p . 4 )
- 展 示 活 動 ----- ( p . 5 )
- 広 報 活 動 ----- ( p . 6 )
- 普 及 教 育 活 動 ----- ( p . 7 )
- 収 蔵 資 料 概 要 ----- ( p . 1 0 )
- 資 料 収 集 保 存 活 動 ----- ( p . 1 0 )
- 調 査 研 究 活 動 ほ か ----- ( p . 1 4 )
- 運 営 ----- ( p . 1 5 )

## ● 沿革

この博物館は、  
国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設された

穂別町立博物館は昭和50(1975)年の長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本の発見がきっかけとなって建設された。当初は「穂別町郷土資料館」として計画され、建設計画中に「穂別町立博物館」として名称変更された。名称変更後の館活動は「本町で発見される化石(自然史)」の研究・保存・普及と「町の歴史(人文)」の保存・普及を行う二面性を備えた総合博物館としてのものであった。

その後、約10年にわたる博物館活動の結果蓄積された自然史資料の重要性と、人文系資料の保存活動に要する作業量にアンバランスを生じ、活動方針の変更が行われた。その基本活動方針は、「穂別地域で産出する古生物(化石)を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」である。その後現在にいたるが、ここではその経緯を記録し、今後の活動の充実と強化につとめていきたい。

### I 「建設の目的」と「展示更新」・「名称変更」

#### 〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町70年(町制施行20年)を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

(昭和55(1980)年11月26日)

#### 〈展示更新の基本的考え方〉

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の1頁1頁であることを理解させる博物館とする。』

(平成2(1990)年6月27日)

#### 〈市町村合併による名称変更〉

平成18(2006)年3月27日に穂別町と鶴川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号(HM-:HOBETSU MUSEUMの略)の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町立穂別博物館」(英語表記は変更なし:HOBETSU MUSEUM)とした。

## Ⅱ 沿革

\*本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」・「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。

- ・「長頸竜」：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式。
- ・「首長竜」：「発掘調査団」の固有名称として使用。
- ・「クビナガリュウ」：長頸竜の通称として使用。
- ・「ホベツアラキリュウ」：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された標本の名称。

昭和50(1975)年

6月：穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部採集。発見者：荒木新太郎氏（穂別町在住）。

昭和51(1976)年

9月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）、荒木氏発見の化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定依頼。

昭和52(1977)年

2月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道。白亜紀海棲爬虫類の鱗の一部と確認。

7月5～8日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。後に、この標本を「ホベツアラキリュウ」標本と命名。

昭和53(1978)年

5月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始

11月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

昭和54(1979)年

5月：長頸竜化石骨、穂別町指定文化財第2号に指定

昭和55(1980)年

10月16日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

昭和56(1981)年

3月13日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

昭和56(1981)年

7月～12月：博物館建設工事

9月1日：鈴木 茂学芸員就任（～昭和60年3月31日）

昭和57(1982)年

1月16日：長頸竜復元作業開始

3月～6月：博物館展示工事

7月20日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）

8月26日：「博物館協議会」発足

11月1日：北海道博物館協会加入

12月19日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開

12月19日～1月23日：特別展（第1回）「よみがえるクビナガリュウ」

昭和58(1983)年

3月2日：博物館法による登録博物館となる（北博登第28号）

3月28日：「博物館協力会」設立

4月1日：日本博物館協会加入

4月28日：菅原康次（第二代）館長就任

7月22日～8月7日：収蔵資料展（第1回）「地図展」

8月1日：全国科学博物館協議会加入

11月1日～3日：収蔵資料展（第2回）「こけし展」

昭和59(1984)年

2月：村上 隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊

3月27日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始

6月14日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成

11月1日～4日：収蔵資料展（第3回）「古い写真・古い文書展」

12月1日：桜庭勝美（第三代）館長就任

昭和60(1985)年

3月30日：「穂別町立博物館館報」刊行開始

5月1日：地徳 力学芸員就任（～平成11年3月31日）

11月1日～10日：特別展（第2回）「北海道一億年」

昭和61(1986)年

10月21日～11月9日：特別展（第3回）「穂別の自然」

昭和62(1987)年

1月1日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）

7月28日～8月9日：特別展（第4回）「アンモナイトの系図」

昭和63(1988)年

7月17日：第三展示室（保存庫）完成

8月23日～9月4日：特別展（第5回）「穂別のカメラ化石」

10月6日：今 幸太郎（第五代）館長就任（専任）

平成元(1989)年

6月30日：仲谷 英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表

7月18日～8月20日：特別展（第6回）「穂別のむかし=写真で見る穂別の歴史=」

9月29日～10月6日：学芸員、カナダ・アルバータ州ティール古生物学博物館に派遣

平成2(1990)年

7月23日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館

8月18日～9月16日：特別展（第7回）「戦争と穂別」

9月3日～5日：レイド、M. G. 氏（アルバータ州ティール古生物学博物館）来館

12月31日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

- 平成3(1991)年  
 4月1日：佐藤 稔（第七代）館長就任  
 4月28日、29日：入館者10万人突破記念事業
- 平成4(1992)年  
 2月1日：展示更新工事開始  
 4月23日～25日：カーリー、P. J. 氏（アルバータ州ティール古生物学博物館）来館  
 4月29日：展示更新完了、一般公開再開
- 平成6(1994)年  
 4月1日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）  
 4月1日：川上 源太郎学芸員就任（～平成10年3月31日）
- 平成7(1995)年  
 7月15日～9月12日：学芸員、カナダ・アルバータ州ティール古生物学博物館に派遣、研修。  
 8月12日：かせき学習館完成
- 平成8(1996)年  
 7月27日～28日：'96北海道化石サミット開催（穂別町民センター）  
 10月6日：大江美津夫（第九代）館長就任
- 平成9(1997)年  
 7月6日、7月10日～8月31日：クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展（第8回特別展）
- 平成10(1998)年  
 4月1日：櫻井和彦学芸員就任（現任）  
 6月11日：星 功（第十代）館長就任  
 8月11日～8月31日：特別展（第9回）「地球物語り（地質学普及書の近代史）」
- 平成11(1999)年  
 1月1日：山田 正（第十一代）館長就任  
 5月29日：入館者30万人突破記念事業  
 8月1日～8月31日：特別展（第10回）「滄龍の泳いだ海-7000万年前の穂別-」  
 10月5日～11月28日：特別展（第11回）「穂別の自然」
- 平成12(2000)年  
 8月1日～8月31日、9月14日～10月1日：特別展（第12回）「穂別の石-川原の石から見た穂別」  
 9月14日～10月1日：日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」
- 平成13(2001)年  
 8月1日～8月25日：特別展（第13回）「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」
- 平成14(2002)年  
 4月28日～5月17日：特別展（第14回）「ツノのある奇妙なカメ-海の穂別からリクガメ化石の発見-」  
 7月1日～21日：特別展（第15回）「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」（再公開）  
 7月20日：開館20周年記念講演・討論会「化石の里（まち）の博物館」  
 7月27日～8月9日：博物館協力会企画展「穂別の化石」
- 8月31日～9月27日：特別展（第16回）「穂別のカメ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」
- 平成15(2003)年  
 1月1日：清川博之（第十二代）館長就任  
 7月20日～8月31日：特別展（第17回）「穂別を泳いだモササウルス」  
 11月1日～1月31日：特別展（第18回）「虫とくらし」（協力：北海道開拓記念館）
- 平成16(2004)年  
 7月17日～8月31日：特別展（第19回）「クジラとデスモチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」  
 10月30日～12月12日：特別展（第20回）「火山と地震 -佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」
- 平成17(2005)年  
 7月16日～8月31日：特別展（第21回）「ホベツアラキリュウ発見30年」  
 10月29日～12月18日：特別展（第22回）「絵はがきは語る -旅の思い出・昔のまちなみ-」
- 平成18(2006)年  
 3月27日：「むかわ町」誕生（穂別町・鶴川町の合併による）、当館の名称を「むかわ町立穂別博物館」と改称  
 3月27日：本多廣行（第十三代）館長就任（現任）

## ●施設の概要

### 【位 置】

北海道勇払郡穂別町字穂別80番地の6

### 【穂別町立博物館】

#### 【構造規模】

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m<sup>2</sup>

常設展示室	372.88m <sup>2</sup>
特別展示室	99.08m <sup>2</sup>
収蔵庫	86.56m <sup>2</sup>
事務室	40.50m <sup>2</sup>
研究室	31.50m <sup>2</sup>
整理室	29.92m <sup>2</sup>
学習展示室	184.75m <sup>2</sup>
書庫	35.05m <sup>2</sup>
共用部門	219.76m <sup>2</sup>

#### 【工 期】

昭和56年度～57年度

#### 【総事業費】

3億6,216万5,000円

#### 【展示更新】

平成3年度～平成4年度：博物館展示替え工事

平成5年度：マルチスライド、イメージソフト制作

#### 【更新事業費】

平成3年度～4年度：99,910,000円（内消費税 2,910,000円）

平成5年度：6,890,700円（内消費税 200,700円）

### 【かせき学習館】

#### 【構造規模】

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m<sup>2</sup>

事務室	56.70m <sup>2</sup>
作業室	56.70m <sup>2</sup>
書庫	14.04m <sup>2</sup>
レプリカ室	12.15m <sup>2</sup>
処 理 室	12.15m <sup>2</sup>
展示物保管庫	162.00m <sup>2</sup>
共用部門	12.15m <sup>2</sup>

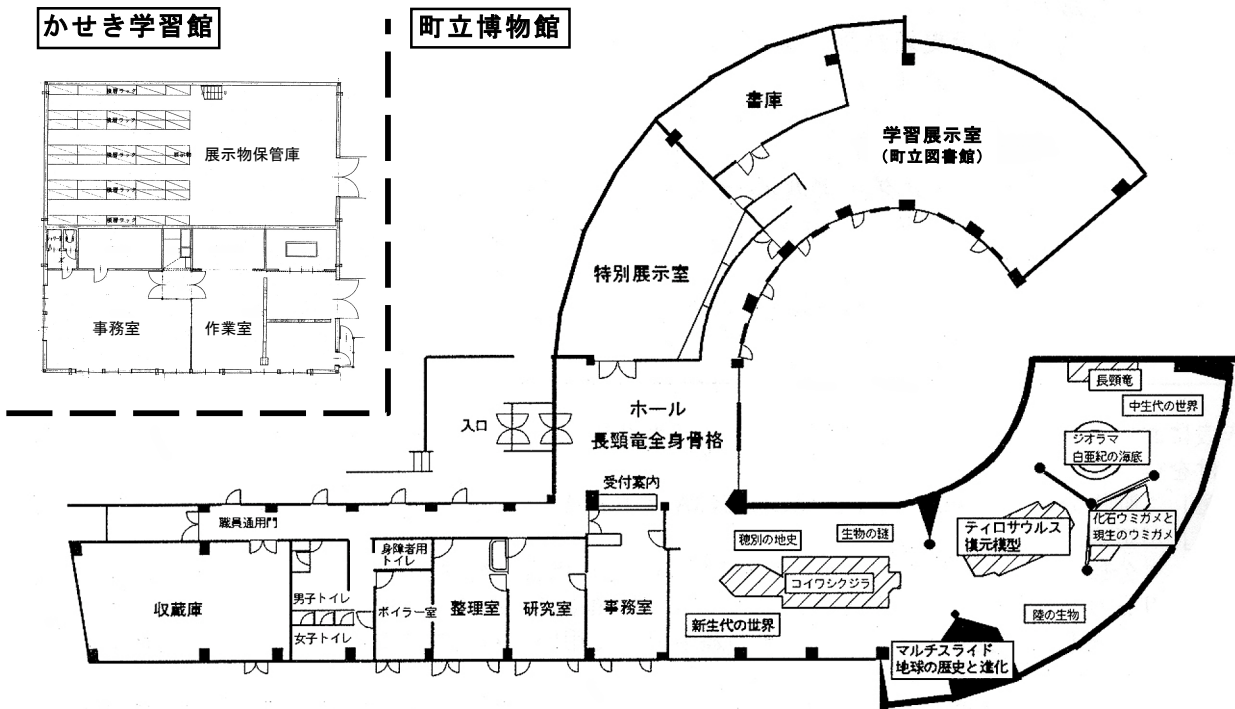
#### 【工 期】

平成7年度

#### 【総事業費】

5,709万2,900円（消費税込み）

## ●施設平面図



## ● 展示活動

### I 常設展示

むかわ町内の主に穂別地域から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示する。

#### 【常設展示の変更】

平成17(2005)年4月27日：ホベツモササウルス右前肢パズル（レプリカによる立体パズル）の設置

平成17(2005)年5月26日：ゴンフォテリウム大白歯（1点）展示

平成18(2006)年3月31日：新町誕生による解説パネルの更新：大6枚（生物解説）、小18枚（標本解説）  
ジグソーパズル・クラフトパズル（自作）の設置

ジグソーパズル：「アンモナイト」〈3点〉（5月27日、6月11日）、「ティロサウルス」〈1点〉（6月11日）

クラフトパズル：「ウミガメ」〈1点〉（7月30日）、「イルカ」〈1点〉（8月2日）、「モササウルス」

〈1点〉（3月11日）、「クビナガリュウ」〈2点〉（3月11日）、「デスモスチルス」〈1点〉（3月14日）

#### 【常設展示資料】

種別	分類		点数	計
化石	脊椎動物	魚類	7	245
		爬虫類（長頸竜10*・モササウルス8*・カメ6・他3）	27	
		哺乳類（クジラ8・デスモスチルス2・他10*）	20	
	その他動物	軟体動物（頭足類89・腹足類30・斧足類40・他4）	169	
		その他（甲殻類7・その他9）	16	
	植物	4		
生痕	2			
現生生物	脊椎動物	爬虫類（カメ）	3	12
		哺乳類（クジラ5・鰭脚類1）	6	
	その他動物	軟体動物（頭足類）1・甲殻類1	2	
	植物	1		
復元模型	脊椎動物	爬虫類（長頸竜1・モササウルス1・カメ1）	3	3
その他	岩石標本等		21	21
合計				281

\*：レプリカ含む

（2006年3月31日現在）

### II 特別展示

#### 【夏季特別展】「ホベツアラキリュウ発見30年」：平成17(2005)年7月16日～8月31日

当博物館建設のきっかけとなったホベツアラキリュウの発見（1975年）から30年が経過したことを受けて、普段は公開していない実物化石を展示し、発見の経緯、発掘の様子、そして現在までを振り返る。

開催期間中に、展示内容に関するクイズ、学芸員による特別展の解説、化石クリーニング体験を実施。

#### 【秋季特別展】「絵はがきは語る -旅の思い出・昔のまちなみ-」：平成17(2005)年10月29日～12月18日

北海道開拓記念館と共催。観光地などで売られている絵はがきの魅力や歴史を振り返り、一昔前の北海道や海外旅行のようすを紹介。また、穂別町で昭和10年ころに作られた絵はがきも紹介。

開催期間中に会場で、「絵はがきの発送コーナー」を開催。

分類	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
----	--------	--------	--------	--------	--------

分類		平成13年度 (2001)	平成14年度 (2002)	平成15年度 (2003)	平成16年度 (2004)	平成17年度 (2005)
個人	一般	9,911	10,355	8,300	8,155	6,843
	学生	3,832	4,367	3,740	3,621	2,963
団体	一般	1,143	877	781	570	691
	学生	2,403	1,348	679	944	715

### Ⅲ 年間入館者数

学生は小学校～高校生、一般は高校生より上、幼児（無料）はこの表には含まれていない（単位：人）  
個人：割引入館者（地球体験館との共通利用割引）・無料入館者（特定入館日、減免等）含む、団体：10名以上

## ● 広報活動

### 【ホッピーだより（博物館広報紙）】

- 245号＜平成17(2005)年4月＞：「平成17年度行事特集号」（4頁）  
246号＜平成17(2005)年5月＞：「平成16年度寄贈資料」  
247号＜平成17(2005)年6月＞：「穂別のアンモナイト展／ホベツアラキリュウ発見30年」  
248号＜平成17(2005)年7月＞：「夏の特別展 ホベツアラキリュウ発見30年」  
249号＜平成17(2005)年8月＞：「『ホベツアラキリュウ発見30年』開催中／穂別の野山のラン」  
250号＜平成17(2005)年9月＞：「夏の特別展終了／化石クリーニング体験実施」  
251号＜平成17(2005)年10月＞：「秋の特別展 絵はがきは語る-旅の思い出・昔の町なみ-」  
252号＜平成17(2005)年11月＞：「秋の特別展開催中／中村記念館 冬期閉館」  
253号＜平成17(2005)年12月＞：「ホッピー化石アドベンチャー展／化石クリーニング体験」  
254号＜平成18(2006)年1月＞：「ホッピー化石アドベンチャー展2005開催／紙芝居できました」  
255号＜平成18(2006)年2月＞：「ホッピー化石アドベンチャー展開催中／清川卓展（第1弾）」  
256号＜平成18(2006)年3月＞：「名前は『むかわ町立穂別博物館』／清川卓選手展（第2弾）」

### 【生涯学習だより「土ようび」（町報ほべつ）】

- No. 124＜平成17(2005)年7月＞：博物館活動特集 記事「わたしたちの博物館～地域に愛される博物館を目指して～」

### 【新聞掲載】

#### [北海道新聞苫小牧圏「とまにち博物誌」]

- 平成17(2005)年6月8日：「穂別のアンモナイト-イカヤタコの仲間・地元では110種発見」（連載12回め）  
平成17(2005)年8月3日：「ホベツアラキリュウ発見30年 -化石発掘に3年半・道内初の全身復元」（連載13回め）  
平成17(2005)年10月19日：「白亜紀の動物化石-『爬虫類の時代』の海を知る手掛かり」（連載14回め）  
平成18(2006)年2月10日：「化石アドベンチャー-複製も挑戦“豆学芸員”」（連載15回め）

### 【ラジオ放映】

#### [FMアップル（札幌）]

- 平成17(2005)年6月20日：博物館のPR  
平成17(2005)年7月30日：博物館から中継



## ●普及教育活動

※利用者の区分は以下の通り

幼：小学生未満、小：小学校～高校生、大：一般

「ホッピー化石アドベンチャー展2005」＜平成18(2006)年1月21日～2月19日＞：会員の一年間の成果の展示（見学74人）

### I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

#### 【特別展】

夏季特別展（第21回）＜平成17(2005)年7月1日～8月31日＞「ホベツアラキリュウ発見30年」（見学3,644人）

＜特別展関連事業＞

「クイズ」＜7月16日～8月21日＞（371人）

「展示解説」＜7月16日、23日、30日、8月6日、13日＞（小16・大31）

「化石クリーニング」＜8月3日、4日、5日、10日、11日＞（小34・大24）

秋季特別展（第22回）＜平成17(2005)年10月29日～12月18日＞「絵はがきは語る-旅の思い出・昔のまちなみ-」（見学1,248人）

＜特別展関連事業＞

「博物館から絵はがきを送ろう」＜平成17(2005)年10月29日～12月18日＞（30枚）

#### 【ホッピー化石アドベンチャー】

：登録会員を対象に、一年を通じて穂別の博物館と化石を学ぶ。平成17年度の会員は9名（町内小～中学生）。全6回実施。

第1回＜平成17(2005)年5月21日＞「化石採集1 中生代の化石」：開会式と化石採集（小9）

第2回＜平成17(2005)年6月25日＞「化石採集2 新生代の化石」：化石採集（小9）

第3回＜平成17(2005)年8月6日＞「特別展見学・化石クリーニング」：夏季特別展の見学とアンモナイトのクリーニング（小9）

第4回＜平成17(2005)年9月17日（欠席者2名の補習：11月12日）＞「化石のレプリカづくり」：クリーニングした化石のレプリカ作成（小9）

第5回＜平成17(2005)年11月19日（欠席者1名の補習：12月17日）＞「化石のレプリカ作成・貝化石の名前しらべ」：レプリカ作成の続きと採集した貝化石の同定（小9）

第6回＜平成18(2006)年1月14日、欠席者1名の補習：1月19日＞「化石の展示」：「ホッピー化石アドベンチャー展2005」の準備（小9）

#### 【マイ・ミュージアム＜特別展示室開放事業＞】

：特別展示室を活用することで、町民一人一人に「自分たち町民の博物館」として親しみを持ってもらうことをめざす。町民の作品やコレクション、当館で保管する資料を展示し、お互いに見て楽しむ活動とすることが目的。

第8回＜平成17(2005)年4月29日～5月22日＞「穂別のアンモナイト」（見学3,238人）

第8回関連事業「アンモナイトのレプリカづくり」＜5月7日、8日＞（小12・大10）

第9回＜平成17(2005)年6月10日～26日＞「昔の林業展」（見学504人）

第9回関連事業

「クイズ」＜6月10日～26日＞（50人）

「丸太切り体験」＜6月18日＞（大3）

第10回＜平成17(2005)年9月9日～25日＞「私たちのお宝展」（見学427人）

第11回＜平成18(2006)年2月1日～22日＞「清川卓展」（第1弾）（清川卓穂別町後援会共催・町民センターホールにて）（見学者数不明）

第11回（第2弾）＜平成18(2006)年3月5日～21日＞「清川卓展」（清川卓穂別町後援会共催・博物館特別展示室にて）（見学95人）

第12回＜平成18(2006)年3月31日～4月9日＞「博物館のポスター展」（見学者数は、平成18年度版）

#### 【化石クリーニング体験】

：かせき学習館にて、化石クリーニングの体験（参加者計：小24・大28）

第1回＜6月4日＞（小4・大4）

第2回＜7月23日＞（小9・大7）

第3回＜8月27日＞（小3・大2）

第4回＜9月17日＞（小2・大5）

第5回＜10月22日＞（小2・大4）

第6回＜11月12日＞（小4・大6）

### 【道民の森deウォッチング】

：ほべつ道民の森にて、自然の観察会（参加者計：小5・大13）

- 第1回<5月14日>「山菜・花」（小0・大6）
  - 第2回<5月28日>「花・山菜」（小0・大2）
  - 第3回<9月10日>「きのこウォッチング」（小5・大5）
- ※講師はいずれも、博物館協力会会員に依頼  
※第3回は穂別高校開放講座と共催

### 【博物館探検シート】

：展示室で化石を学ぶワークシート（全8枚）  
平成17(2005)年3月8日～3月31日：10人  
平成17(2005)年4月1日～18(2006)年3月31日：591人

### 【塗り絵絵本】

：穂別地域の化石を題材とした塗り絵  
平成17(2005)年4月1日～18(2006)年3月31日：200部

### 【紙芝居上演】

- ：町内保育園にて、穂別地域の化石を題材とした紙芝居の上演（計：幼42・大7）
- 第1回<1月27日>「富内保育所」（幼7・大2）
  - 第2回<2月3日>「さくら保育所」（幼20・大2）
  - 第3回<2月15日>「栄和保育所」（幼15・大3）

### 【運営協力など】

- 日高山脈館ネイチャーセミナー（日高町）<平成18(2006)年1月21日>：「化石クリーニング」の講師（小13・大7）
- 地球と遊ぼう2006（穂別地球体験館主催）<平成18(2006)年1月28日>：「冬の雪山歩き」の補助（小12・大5）

## Ⅲ 町内団体等の利用

学芸員等が対応したものは<>で内容を示した  
特に表記のないものは案内の伴わない展示見学

### 【町内学校・教育関係団体】

- 平成17(2005)年5月：  
26日：転入教職員町内視察<展示見学>（大21）  
31日：穂別小学校4年（国語）<人文資料収蔵庫・中村記念館見学>（小22・大1）
- 平成17(2005)年6月：  
15日：稲里小学校<化石採集>（小6・大3）  
23日：町教研（理科）<化石採集>（大4）  
24日：稲里小学校<展示見学>（小6・大4）  
28日：穂別小学校3年（社会科）<施設見学>（小5）
- 平成17(2005)年7月：  
8日：稲里小学校6年（総合学習）<展示見学>（小2・大1）
- 平成17(2005)年9月：  
15日：町教研（理科）<自然観察（キノコ）>（大5）
- 平成17(2005)年10月：  
6日：穂別高校1年（総合学習）<展示見学・化石採集>（小45・大2）  
20日：町教研（理科）<化石クリーニング>（大5）
- 平成17(2005)年12月：  
7日：穂別小学校5年（社会科）<質問対応>（小9・大1）
- 平成18(2006)年2月：  
24日：仁和小学校3・4年<展示見学>（小11・大1）
- ### 【町内各種団体】
- 平成17(2005)年10月：  
15日：穂別地球体験館サイエンスガイド<展示見学>（大4）
- 平成17(2005)年12月：  
1日：町内観光施設勉強会<レプリカ作成>（大6）
- 平成18(2006)年3月：  
2日：穂別地球体験館サイエンスガイド<展示見学>（大2）

#### IV 町外団体の利用

学芸員等が対応したものは<>で内容を示した  
特に表記のないものは案内の伴わない展示見学

##### 【町外学校・教育関係団体】

平成17(2005)年4月：

17日：登別青嶺高校（小200・大3）

平成17(2005)年6月：

3日：北海道教育大学岩見沢校地質巡検（大27）

18日：更別農業高校（小63・大5）

22日：岡山県立津山高校（小35・大3）

30日：札幌市立小野幌小学校（小102・大6）

平成17(2005)年7月：

14日：苫小牧開成中学校（2年）<展示見学>  
（小49・大3）

20日：日高町立日高小学校（小22・大4）

26日：鶴川町教育委員会「わんぱく広場」<展  
示見学>（小50・大8）

平成17(2005)年8月：

2日：鶴川町教育委員会「高齢者大学」<展示  
見学>（小1・大58）

4日：鶴川町教育委員会「高齢者大学」<展示  
見学>（小1・大30）

7日：山の手博物館（札幌）<展示見学・化石  
採集>（小6・大8）

27日：北海道文化財保護協会<展示見学>  
（大26）

31日：三笠市教育委員会「寿大学」<展示見  
学>（大43）

平成17(2005)年9月：

27日：浦河町老人大学（大60）

平成17(2005)年10月：

2日：日本宇宙少年団札幌分団<展示見学・化  
石採集>（小4・大5）

8日：NPO自然教育促進会<化石採集>（小33・  
大9）

9日：NPO自然教育促進会<展示見学>（小33・  
大9）

17日：苫小牧開成中学校<化石クリーニング・  
レプリカ作り>（小5）

平成17(2005)年11月：

17日：富川ひばり幼稚園（幼48・大4）

18日：富川ひばり幼稚園（幼55・大4）

22日：富川ひばり幼稚園（幼52・大4）

29日：静岡県立磐田南高校（小38・大2）

平成18(2006)年2月：

26日：ネイチャー研究会inむかわ<展示見学>  
（大4）

##### 【町外各種団体】

平成17(2005)年6月：

21日：前田建設工業株式会社<化石クリーニン  
グ体験>（大3）

平成17(2005)年7月：

5日：渡島管内町村議会議員視察<展示見学>  
（大24）

27日：千歳市高齢者若返学園（大127）

平成17(2005)年8月：

5日：テュートレット英語クラブ（小79・大8）

平成17(2005)年9月：

24日：東胆振再発見ツアー（苫小牧中小企業家  
同友会）<展示見学>（大54）

25日：胆振母子会（小5・大26）

27日：大滝村障害者施設「ビバランド優徳荘」  
（大22）

平成17(2005)年10月：

4日：足寄町議会文教厚生常任委員会<情報交  
換・展示見学>（大7）

## ● 収蔵資料概要 (登録資料)

【自然史系登録資料 (HMG)】 1,284点

地質・化石資料

【自然系登録資料 (HMB)】 121点

現生動植物資料

【人文系登録資料 (HMC)】 3,832点

民俗・歴史資料

計5,237点 (2006.3.31.現在)

## ● 資料収集保存活動

### I 寄 贈

(敬称略)

【自然史系資料】(31件・803点)

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2005-003	二枚貝化石・巻貝化石	2	平口 正義
2005-005	植物化石	1	千歳化石会
2005-008	ゾウ歯化石(中国産)	1	笠巻 袈裟男
2005-011	脊椎動物化石(第三紀)	1	千歳化石会
2005-012	化石含有ノジュール	435	博物館協力会
2005-017	カメ化石	1	長岡 静男
2005-018	化石含有ノジュール	1	長岡 晴道
2005-024	脊椎動物化石ほか	2	阿部 利春
2005-025	脊椎動物化石(白亜紀)	1	菅原 昭二
2005-026	化石含有ノジュール	1	長岡 晴道
2005-028	化石含有ノジュール	142	阿部 利春
2005-032	巻貝化石	2	千歳化石会
2005-033	脊椎動物化石(第三紀)	1	千歳化石会
2005-034	アンモナイト	1	千歳化石会
2005-036	二枚貝化石	2	千歳化石会
2005-037	脊椎動物化石(白亜紀)	1	千歳化石会
2005-038	植物化石	2	千歳化石会
2005-040	イノセラムス	1	阿部 利春
2005-041	化石含有ノジュール	39	笠巻 袈裟男
2005-043	植物化石	1	阿部 利春
2005-045	化石含有ノジュール	18	博物館協力会
2005-047	化石含有ノジュール	42	阿部 利春
2005-054	アンモナイトほか	6	千歳化石会
2005-057	化石含有ノジュール	37	阿部 利春
2005-063	ウニ化石など	15	阿部 利春
2005-064	化石含有ノジュール	15	阿部 利春
2005-065	化石含有ノジュール	21	阿部 利春
2005-066	化石含有ノジュール	6	阿部 利春
2005-073	脊椎動物化石(カメ?)	1	阿部 利春
2005-074	イノセラムス	1	守山 隆雄
2005-075	クロム鉱石含有蛇紋岩	1	山田 正

【自然系資料】(6件・329点)

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2005-001	昆虫標本(穂別周辺で見られる蝶)	300	溝口 賢治
2005-004	動物標本	1	中上 紀文
2005-021	動物写真(ヒグマ)	1	菅原 昭二
2005-031	昆虫標本(トンボ)	23	菅原 昭二
2005-046	動物写真(トンボ他)	2	記伊 正義
2005-060	動物標本(アオイガイ)	2	小樽市立博物館

【人文系資料】(7件・61点+多数)

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2005-002	土器・石器片	多数	平口 正義
2005-019	ノコ	2	高橋 義道
2005-022	穂別町の古写真	37	阿部 武夫
2005-053	絵はがき	3	阿部 くみ子
2005-058	絵はがき	10	いしかり砂丘の風資料館
2005-059	絵はがき	5	釧路市立博物館
2005-062	絵はがき	4	中上 紀文

### II 採 集

【自然史系資料】(26点)

化石含有ノジュール等(白亜紀) : 25  
 脊椎動物化石(白亜紀) : 0  
 化石含有ノジュール(第三紀) : 1  
 脊椎動物化石(第三紀) : 0

【自然系資料】(23点)

現生動物標本 : 4点  
 現生昆虫標本 : 19点

【人文系資料】(1点)

### III 野外調査活動

【現地調査】 8回

4月 : 29日  
 6月 : 23、24日  
 8月 : 18、28日  
 9月 : 14日  
 10月 : 24日  
 11月 : 6日

内訳 :

博物館協力会と合同調査 : 1回  
 千歳化石会と合同調査 : 3回

#### IV 新規登録資料

登録番号：資料名／受入番号／寄贈（採集）者名

##### 【自然史系資料（HMG）】（化石・地質）111点

- HMG-1184：アンモナイト (*Anagaudryceras* sp.)  
／1994-004／松本 達郎 (HMG-1019より変更)
- HMG-1181：アンモナイト (*Scaphites* sp.)  
／1995-023／地徳 力
- HMG-1182：アンモナイト (*Scaphites* sp.)  
／1995-023／地徳 力
- HMG-1183：ゾウの歯化石 (*Gomphotherium* sp.)  
／2005-008／笠巻 袈裟男
- HMG-1186：クジラ化石／1986-081  
／荒木 新太郎
- HMG-1187：長頸竜化石／1994-012／三宅 俊一
- HMG-1188：長頸竜化石／1994-002／阿部 利春
- HMG-1189：長頸竜化石／1993-001  
／荒木 新太郎
- HMG-1190：長頸竜化石／1990-017／三宅 俊一
- HMG-1191：長頸竜化石／1990-016／佐藤 昌人
- HMG-1192：長頸竜化石／2005-014／千歳化石  
会 (佐々木 尚子)
- HMG-1193：長頸竜化石／2005-015／今野 健一
- HMG-1194：長頸竜化石／2005-016／菅原 昭二
- HMG-1195：ウミガメ化石 (*Mesodermochelys  
undulatus* Hirayama and Chitoku, 1996)  
／2005-017／長岡 静男
- HMG-1196：ウニ化石／1981-033a／鈴木 茂
- HMG-1197：ウニ化石／1981-033b／鈴木 茂
- HMG-1198：ウニ化石／1981-058／鈴木 茂
- HMG-1199：ウニ化石／2004-010  
／穂別町立博物館
- HMG-1200：ウミユリ化石／2005-007  
／穂別町立博物館
- HMG-1201：ウミユリ化石／1995-029  
／川上 源太郎・渋谷 直憲
- HMG-1202：ウミユリ化石／2004-010  
／穂別町立博物館
- HMG-1203：単体サンゴ化石／1995-004  
／阿部 利春
- HMG-1204：単体サンゴ化石／1995-004  
／阿部 利春
- HMG-1205：単体サンゴ化石／2004-016  
／菅原 昭二
- HMG-1206：単体サンゴ化石／2005-007  
／穂別町立博物館
- HMG-1207：爬虫類化石／2005-013／小林 透
- HMG-1208：クジラ？化石／1993-005  
／地徳 力・佐藤 稔
- HMG-1209：クジラ？化石／1998-110／穂別町  
立博物館
- HMG-1210：クジラ？化石／1998-108  
／穂別町立博物館
- HMG-1211：クジラ？化石／1998-109  
／穂別町立博物館
- HMG-1212：軟骨魚綱 (板鰓亜綱)／1998-091  
／穂別町立博物館
- HMG-1213：軟骨魚綱 (板鰓亜綱)／1998-092  
／穂別町立博物館
- HMG-1214：哺乳類化石 (分類不詳)  
／1998-053／穂別町立博物館
- HMG-1215：硬骨魚綱？化石／1999-026  
／荒木 新太郎
- HMG-1216：爬虫類化石／2005-024  
／阿部 利春
- HMG-1217：長頸竜？化石／2005-025  
／菅原 昭二
- HMG-1218：爬虫類化石 (分類不詳)  
／2005-011／千歳化石会 (服部 義幸)
- HMG-1219：長頸竜？化石／2003-003  
／堀田 良幸・菅原 昭二
- HMG-1220：爬虫類化石／1982-036／鈴木 茂
- HMG-1221：クジラ化石／1981-060-11  
／田中 岩男
- HMG-1222：カメ？化石／2004-006  
／穂別町立博物館
- HMG-1223：爬虫類化石／2005-029／地徳 力
- HMG-1224：クジラ？化石／1986-086-2  
／地徳 力
- HMG-1225：脊椎動物化石 (分類不詳)  
／1993-023／千歳化石会 (服部義幸)
- HMG-1226：長頸竜？化石／1990-009  
／小林 一秀
- HMG-1227：爬虫類化石／1995-063／高橋 達弥
- HMG-1228：長頸竜？化石／1981-032  
／鈴木 茂・杉村 英二
- HMG-1229：軟骨魚綱 (板鰓亜綱)／1987-025  
／千代川 謙一
- HMG-1230：ウミガメ？化石／2005-030  
／佐藤 稔
- HMG-1231：クジラ化石／1986-054  
／荒木 新太郎
- HMG-1232：硬骨魚綱／1989-025／利光 誠一
- HMG-1233：クジラ化石／2004-040  
／櫻井 和彦・村上 隆・高橋 義道
- HMG-1234：哺乳類化石／1997-026  
／穂別町立博物館
- HMG-1235：長頸竜？化石／1998-004  
／千歳化石会 (服部 義幸)
- HMG-1236：長頸竜？化石／1998-003  
／千歳化石会 (菊池 紀彦)
- HMG-1237：キララガイ (*Acila elongata*)  
／2000-062／穂別町立博物館
- HMG-1238：キララガイ (*Acila elongata*)  
／2000-062／穂別町立博物館
- HMG-1239：キララガイ (*Acila elongata*)  
／2000-062／穂別町立博物館

- HMG-1240 : メイセンタマガイ (*Euspila meisensis*) /2005-049/穂別町立博物館
- HMG-1241 : メイセンタマガイ (*Euspila meisensis*) /2000-065/穂別町立博物館
- HMG-1242 : ダイオウシラトリ (*Macoma optiva*) /2000-062/穂別町立博物館
- HMG-1243 : ダイオウシラトリ (*Macoma optiva*) /2000-065/穂別町立博物館
- HMG-1244 : リュウグウハゴロモガイ (*Periploma yokoyamai*) /2000-065/穂別町立博物館
- HMG-1245 : リュウグウハゴロモガイ (*Periploma yokoyamai*) /2000-062/穂別町立博物館
- HMG-1246 : カガミガイ (*Phacosoma nomurai*) /1986-048/穂別町教育委員会
- HMG-1247 : カガミガイ (*Phacosoma nomurai*) /1986-048/穂別町教育委員会
- HMG-1248 : キリガイダマシ (*Turritella* sp.) /1986-048/穂別町教育委員会
- HMG-1249 : キリガイダマシ (*Turritella* sp.) /1986-048/穂別町教育委員会
- HMG-1250 : ツノガイ (*Dentalium* sp.) /1986-048/穂別町教育委員会
- HMG-1251 : ツノガイ (*Dentalium* sp.) /1986-048/穂別町教育委員会
- HMG-1252 : アンモナイト (*Pachydesmoceras* sp.) /2002-016/穂別町立博物館
- HMG-1253 : 植物化石 (針葉樹の葉) /1999-037/千歳化石会
- HMG-1254 : 植物化石 (詳細不明) /2005-005/千歳化石会 (服部 義幸)
- HMG-1255 : 植物化石 (広葉樹の葉) /1984-096-1/鈴木 茂
- HMG-1256 : 植物化石 (針葉樹の球果) /1989-014/高橋 博志・地徳 力
- HMG-1257 : 植物化石 (針葉樹の球果) /1981-020/笠巻 袈裟男・荒木 新太郎・浅野 勝司
- HMG-1258 : 植物化石 (針葉樹の球果) /2005-068/採集者不明
- HMG-1259 : 植物化石 (針葉樹の葉) /1982-036-3/鈴木 茂
- HMG-1260 : 植物化石 (針葉樹の葉) /1982-032-3/笠巻 袈裟男
- HMG-1261 : 木性シダ (ヘゴ科) の樹幹 /2002-066/岩田 正敏
- HMG-1262 : 植物化石 (針葉樹の球果) /1981-033b/鈴木 茂・荒木 新太郎・高橋 博志
- HMG-1263 : 植物化石 (広葉樹の葉) /1981-033b/鈴木 茂・荒木 新太郎・高橋 博志
- HMG-1264 : 植物化石 (スギの葉?) /1982-192-3/鈴木 茂
- HMG-1265 : 植物化石 (葉) /2005-067/長岡 晴道
- HMG-1266 : 植物化石 (葉) /1996-046/穂別町立博物館
- HMG-1267 : 植物化石 (葉?) /1998-065/穂別町立博物館
- HMG-1268 : 植物化石 /1997-027/穂別町立博物館
- HMG-1269 : 植物化石 /2004-027/穂別町立博物館
- HMG-1270 : 植物化石 (球果?) /1982-018-026/荒木 新太郎
- HMG-1271 : 植物化石 (茎部?) /1982-018-026/荒木 新太郎
- HMG-1272 : 植物化石 (球果?) /1981-026/鈴木 茂・浅野 勝司・中條 太光
- HMG-1273 : 植物化石 (ソテツ類の茎部?) /2005-043/阿部 利春
- HMG-1274 : 植物化石 (球果?) /1983-029-2/鈴木 茂
- HMG-1275 : 植物化石 /1983-048-5/博物館協力会化石部会
- HMG-1276 : 針葉樹の球果 /1998-139/採集者不明
- HMG-1277 : 植物化石 (葉) /1981-033/鈴木 茂・荒木 新太郎・高橋 博志
- HMG-1278 : 植物化石 (葉) /1981-027/石崎 正行・鈴木 茂・浅野 勝司
- HMG-1279 : 植物化石 (球果?) /1981-026/鈴木 茂・浅野 勝司・中條 太光
- HMG-1280 : 植物化石 (球果?) /1986-077/地徳 力
- HMG-1281 : 植物化石 (球果?) /1986-077/地徳 力
- HMG-1282 : 植物化石 (球果?) /1987-013/千代川 謙
- HMG-1283 : 植物化石 (イチヨウの葉?) /1982-192-3/鈴木 茂
- HMG-1284 : 植物化石 (葉) /1982-036-3/鈴木 茂
- HMG-1285 : 植物化石 (葉) /1981-033b/鈴木 茂・荒木 新太郎・高橋 博志
- HMG-1286 : 植物化石 (葉) /1981-033b/鈴木 茂・荒木 新太郎・高橋 博志
- HMG-1287 : 植物化石 (葉) /1982-018-29/荒木 新太郎
- HMG-1288 : ティロサウルス頭骨化石 (*Tylosaurus proriger*; 北米産) /2005-070
- HMG-1289 : HMG-1072 (ウミガメの卵化石) のレプリカ /1995-012/長岡 静男
- HMG-1290 : HMG-1056 (*Anomalochelys angulata* Hirayama et.al., 2001模式標本) のレプリカ /2005-071/沼田町化石館作製

HMG-1291 : マンモスの臼歯 (レプリカ)  
/1986-052/熊野 純男  
HMG-1292 : プラテカープス頭骨化石レプリカ (*Platycarpus ictericus*; 北米産・原標本は北海道大学所蔵) /1995-010  
/穂別町立博物館協力会

【自然系資料 (HMB)】(現生生物) 6点

HMB-116 : 穂別で見られる蝶の標本 (85種・300点) /2005-001/溝口 賢治  
HMB-117 : ニホンザル頭骨レプリカ (*Macaca fuscata fuscata*) /2005-020/沼田町化石館作製  
HMB-118 : アオイガイ (雌、殻) (*Argonauta argo*) /2005-060/小樽市博物館 (山本 亜生)  
HMB-119 : アオイガイ (雌、液浸標本) (*Argonauta argo*) /2005-060  
/小樽市博物館 (山本 亜生)  
HMB-120 : ゴマフアザラシ (*Phoca largha*) /1990-015/石狩町役場  
HMB-121 : アカウミガメ (*Caretta caretta*) /2005-072/小樽水族館

【人文系資料 (HMC)】(生活・歴史等) 0点

V 資料の貸出

平成6(1994)年8月17日～平成18(2006)年3月31日  
ウミガメ化石 (HMG-366, 367, 1053, 1054, 1055 : 5点) : 早稲田大学 平山 廉博士 (旧所属 : 帝京平成大学)  
平成7(1995)年4月1日～平成18(2006)年3月31日  
アンモナイト (HMG-842)・イノセラムス (HMG-883) (2点) : 穂別地球体験館  
平成7(1995)年5月11日～平成18(2006)年3月31日  
ウミガメ化石 (HMG-1063, 1064 : 2点) : 早稲田大学 平山 廉博士 (旧所属 : 帝京平成大学)  
平成7(1995)年4月1日～平成18(2006)年3月31日  
剥製標本 (HMB-2, 3, 4, 7, 9, 11, 12, 17, 19, 21, 22, 25, 26, 29, 30, 40, 41, 43, 98, 99 : 20点) : 穂別町立穂別小学校  
平成8(1996)年6月14日～平成18(2006)年3月31日  
剥製標本 (HMB-36, 47 : 2点), ジオラマ (HMC-2797, 2798, 2799, 2821 : 4点) : 穂別町立穂別小学校  
平成9(1997)年6月27日～平成18(2006)年3月31日  
アンモナイト (HMG-911, 936 : 2点) : 工業技術院地質調査所地質標本館 利光誠一博士  
平成17(2005)年4月28日～8月18日  
ヒグマ交連骨格 (HMB-46 : 1点) : 千歳サケのふるさと館  
平成17(2005)年6月17日～8月31日  
メソダーモケリス (HMG-5), アノマロケリス (レプリカ : HMG-1290), ホベツモササウルス (レプリカ : HMG-1073), ウミガメ卵化石 (レプリカ : HMG-1289), 植物化石 (HMG-1253, 1254, 1255, 1256, 1257, 1258, 1259, 1260, 1261, 1262, 1263, 1276 : 12点), 計16点 : 苫小牧市博物館  
平成17(2005)年12月19日～平成18(2006)年3月31日  
「穂別町地質構造発達史」VTR (1点) : 北海道教育大学岩見沢校 理科教育研究室 能條 歩

## ●調査研究活動ほか

### I 脊椎動物化石の研究

#### 【総論】

櫻井和彦（穂別町立博物館学芸員）：穂別町立博物館の所蔵する脊椎動物化石. 穂別町立博物館研究報告. 21. p.17-47.

### II その他の研究

特になし

### III 刊行物

#### 【穂別町立博物館研究報告】

第21号, 47頁：平成17(2005)年8月31日発行

<掲載論文>

越前谷 宏紀・箕浦 名知男：北海道三笠地域より産出した白亜紀後期Polycotylidae長頸竜化石. p.1-10.

中井 学：マイ・ミュージアムに見る博物館の町民利用について. p.11-16.

櫻井和彦（穂別町立博物館学芸員）：穂別町立博物館の所蔵する脊椎動物化石. p.17-47.

#### 【穂別町立博物館館報】

第22号（2004年度版），19頁：平成17(2005)年10月発行

### IV 学会・大会・研修会等への参加

#### 【学会・研修会等】

[日本地質学会]

：欠席

#### 【博物館協会等の大会・研修会等】

[北海道博物館協会]

平成17(2005)年6月30日：

第44回北海道博物館大会（小樽市）：学芸員出席

平成17(2005)年8月25日～26日：

北海道博物館協会学芸職員部会 総会・研修会（斜里町）：学芸員出席

[日胆地区博物館等連絡協議会]

平成17(2005)年6月6日：

日胆地区博物館等連絡協議会 総会（虻田町）：学芸員出席

平成18(2006)年2月21日：

日胆地区博物館等連絡協議会 臨時拡大委員会 議：学芸員出席（理事）

※研修会は、ミュージアム・マネージメント研修会により振り替え

[ミュージアム・マネージメント]

平成17(2005)年9月1日～2日：

北海道博物館協会ミュージアム・マネージメント研修会（白老町）：学芸員出席<事例発表>

### V 協力団体との連携

#### 【穂別町立博物館協力会】

平成17(2005)年：

4月15日：博物館協力会 総会

4月30日-5月22日：第8回マイ・ミュージアム「穂別のアンモナイト」に荒木新太郎会長の所蔵する標本を展示

5月7日-15日：学習用地の整備（崩土除去・水洗）

5月14日：道民の森deウォッチング「山菜・花」講師（小山タエ子会員）

5月28日：道民の森deウォッチング「花・山菜」講師（小山タエ子会員）

7月16日-8月31日：夏季特別展「ホベツアラキリュウ発見30年」に荒木会長所蔵のクビナガリュウ化石を展示

9月10日：道民の森deウォッチング「キノコ観察会」講師（高橋博志会員）

9月15日：穂別町教育研究会理科サークル「キノコ観察」講師（高橋博志会員）

9月24日：野外調査

#### 【千歳化石会】

平成17(2005)年：

4月29日：野外調査

8月28日：野外調査

11月6日：野外調査

11月27日：総会

平成17(2005)年：

3月4日：次年度打合せ



I 行事等

【町内学校訪問（利用案内）】

平成18(2006)年：

1月18日：穂別町内（穂別小学校・穂別中学校・  
稲里小学校）

1月20日：穂別町内（和泉小学校）

1月25日：穂別町内（仁和中学校・仁和小学校・  
富内小学校）

1月26日：穂別町内（穂別高校）

2月 9日：鵜川町内（生田小学校・宮戸小学校）

2月10日：鵜川町内（中央小学校・中央中学校・  
鵜川高校）

【中央生活館の展示（民俗資料の展示）】

平成17(2005)年 8月18日：展示資料入れ換え

【町内観光施設会議】

町立博物館・穂別地球体験館・農林商工課

平成17(2005)年

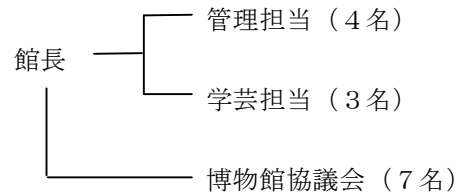
9月27日：第1回打ち合わせ

10月 7日：第2回打ち合わせ

10月19日：第3回打ち合わせ

12月 1日：第4回打ち合わせ

II 組 織



【博物館協議会委員】（平成17(2005)年度）

平成17(2005)年4月1日～平成18(2006)年3月26日

会 長 北 倉 了 一

副会長 窪 田 敬 一

委 員 小石川 武 美

委 員 荒 木 新太郎

委 員 大久保 玲 子

委 員 内 海 由起江

委 員 佐 藤 稔

【博物館職員】（平成17(2005)年度）

〈館 長〉

～平成18(2006)年3月26日 清 川 博 之

平成18(2006)年3月27日～ 本 多 廣 行

〈管理担当職員〉

主 幹 石 黒 和 徳

(平成18(2006)年3月27日～：主査)

臨時職員(受付) 芥 川 紀 子

臨時職員(受付) 深 谷 文 子

臨時職員(清掃) 多 村 こゆる

〈学芸担当職員〉

学 芸 員 櫻 井 和 彦

生涯学習推進アドバイザー 村 上 隆

臨時職員(補助員) 相 澤 孝 行

### Ⅲ 利用状況

#### 【常設展示観覧者】

平成17(2005)年4月～平成18(2006)年3月

月	一般	学生	計	開館日
4	659	517	1176	26
5	2,049	889	2,938	25
6	416	309	725	26
7	1,033	497	1,530	31
8	1,595	844	2,439	31
9	739	180	919	25
10	505	225	730	25
11	294	109	403	23
12	30	28	58	26
1	31	9	40	21
2	25	17	42	24
3	158	54	212	26
計	7,534	3,678	11,212	309

(単位：人・日)

#### 【博物館特定入館日】

<国際博物館の日>

国際博物館会議（イコム、ICOM）のモスクワ大会（1977年）にて制定され、日本では平成14年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」（5月18日）の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。

<博物館開館記念日関連事業>

7月20日の開館記念日に関連して、平成17(2005)年7月18日(月)～7月24日(日)を町民無料観覧の日とした。

[博物館特定入館日に伴う町民無料入館]

実施日	行事名	一般	学生	計
5.18	国際博物館の日	9	2	11
7.18～24	博物館開館記念日 (7日間)	6	1	7
9.19	敬老の日	6	0	6
11.3	文化の日	6	1	7
11.23	勤労感謝の日	5	1	6
'05.1.9	成人の日	5	2	7
計	延べ12日	37	7	44

学生：小・中・高校生 (単位：人)

#### 【学校週五日制関連事業】

<町内児童生徒に対する入館料減免>

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、穂別町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。

平成17年度の利用者数：244人（個人見学のみ）

### Ⅳ 歳入

区 分		有料入館者数	使用料
一般	個人	4,150	1,170
	団体	691	136
	割引	2,693	538
学生	個人	1,710	146
	団体	715	35
	割引	1,253	62
小計		11,212	2,090
諸収入		物品販売代	0
		私用電話料	0
小計			0
合 計			2,090

(単位：人・千円)

### Ⅴ 歳出

費 目	予算額
博物館施設管理経費	12,196
博物館協議会経費	51
生涯学習推進アドバイザー設置経費	2,013
博物館資料収集及び調査研究事業	1,182
博物館施設改修事業	500
博物館費合計	15,942

(単位：千円)

※平成18年7月1日現在、平成17年度決算が確定していないため、予算額を記載

## VI 利用案内

### 【開館時間】

午前9時30分～午後4時30分

### 【休館日】

- ・毎週月曜日。
  - ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日、日曜日及び月曜日にあたる場合は火曜日。
  - ・館内整理日。
  - ・12月31日～1月5日。
- \*ただし、7、8月は休まず開館。

### 【観覧料】

	一般	*学生
個人	300円	100円
**団体	200円	50円
***割引	100円	無料

注：未就学児童は無料（要大人の付添い）

\* 学生：小・中学生・高校生

\*\* 団体：10人以上

\*\*\*割引：地球体験館との共通利用割引

### 【減 免】

「(穂別町立) 博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない(穂別町立博物館設置条例、第6条)」が「(穂別町) 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる(同条例、第7号)」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

穂別町立博物館施行規則第6条条例第7条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

(教育目的)

1) 穂別町立小・中学校及び北海道穂別高等学校の児童生徒が教育を目的として入館する場合

(研究目的)

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合

(福祉目的)

3) 老人福祉法(昭和38年法律第133号)第14条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

4) 精神薄弱者福祉法(昭和35年法律第144号)第18条に規定する町内の精神薄弱者福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

(公益目的)

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に教育長が必要と認める場合

## むかわ町立穂別博物館館報

(旧 穂別町立博物館観報)

第23号

平成17(2005)年度版

発行 2006年8月

発行者 むかわ町立穂別博物館

(旧 穂別町立博物館)

〒054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別80番地の6

TEL/FAX (0145) 45-3141